



リベットルーフ防水 劣化診断システム

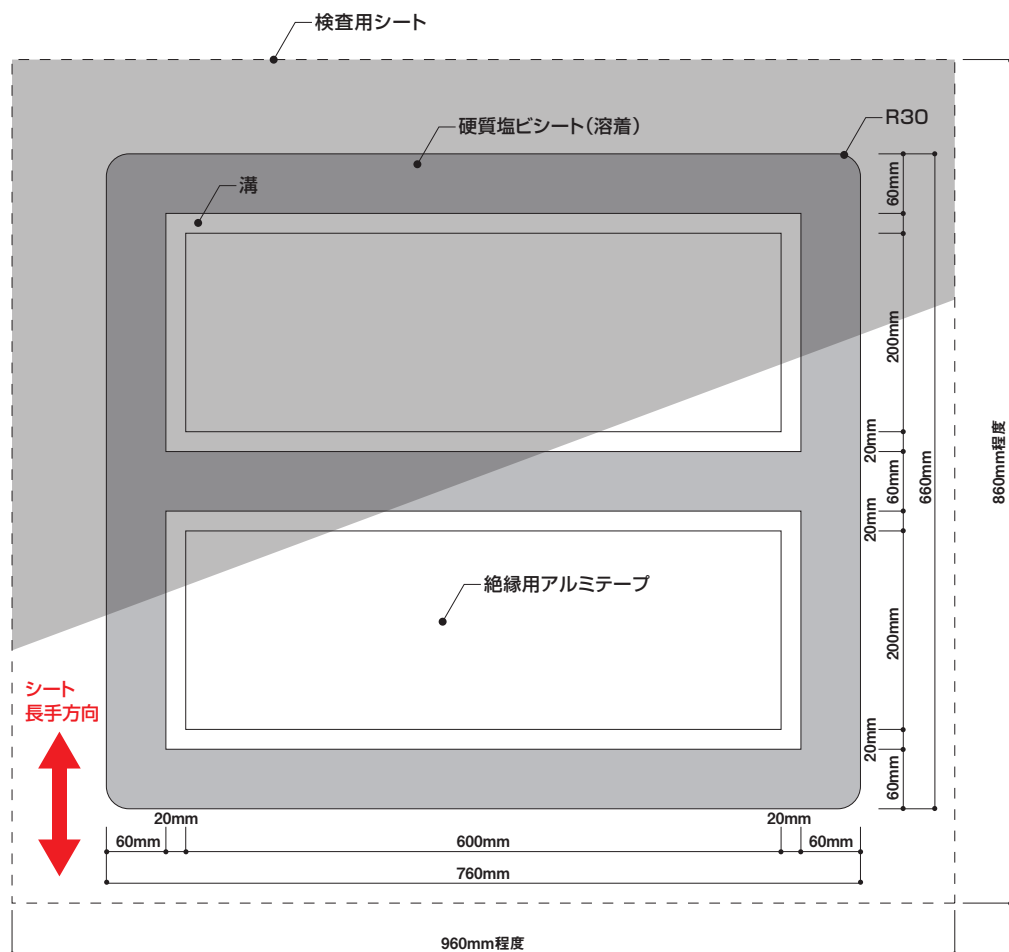
施工マニュアル

■ リベットルーフ劣化診断システムとは

リベットルーフの劣化の程度を診断する為のシステムです。防水施工後、設置された検査用シートを定期的（計2回）に切り取り、シートの物性試験を行う事で、リベットルーフの劣化状態を把握します。それをもとに、次回の防水改修時期の検討の参考にします。

■ 検査用シート設置方法

設置する検査用シートは下図の形状の物を1箇所設置します。



※厚さ5mm(溝部は厚さ3mm)

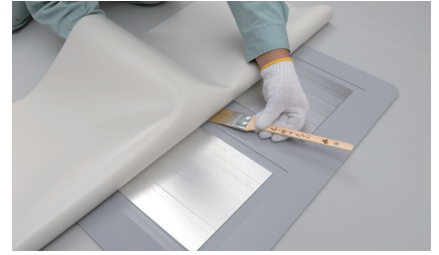
■設置手順



① ベースの設置後、アルミテープ貼り



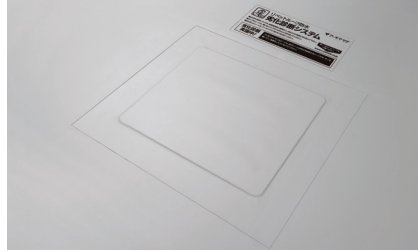
② サンプルシートを裁断



③ サンプルシートの溶着接合(中央部)



④ サンプルシートの溶着接合(周辺部)



⑤ 表示シートを設置し完了

●注意事項

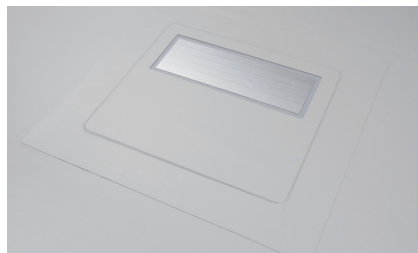
- 硬質塩ビ板の裏側には、シーリング材(AYシールMS-1等)をビード状に塗布し、施工した防水シートと固定して下さい。(硬質塩ビ板をアンカーでは固定しないで下さい。)
- 施工したシートの物性の初期値を測定する為、予め200mm×600mmシートを別に営業担当者まで郵送してください。(郵送の手順は、「物性試験依頼手順」に従い、シートの長手方向が判るように印しを明記の上、郵送してください。)
- 検査用シートは水上側に設置して下さい。水下側に設置しますと、水溜まりが出来た際、検査用シートが水没する恐れがあります。
- 検査用シートに塗装(AYハイコート 700N や AYコートなど)しますと、表面撮影や物性試験結果に影響がでますので、塗布は行なわないで下さい。
- 検査用シートを設置する際は、パラペットや棟屋などから極力離れた位置に取り付けて下さい。設置位置が日陰になりますと、シートの物性に影響がでてしまう可能性があります。

■ サンプルング方法

サンプル採取の基本周期は8・13年目とします。



① 診断する部分のカットサンプルを裁断



② 切り取った後の小口はシーリング材で処理



●検査依頼書 ●カットサンプル

■ 郵送するもの

■ 物性試験依頼手順

カットサンプルは、以下の事項に従い、営業担当者までご送付願います。

① 検査依頼書の作成

検査依頼書のフォーマットをホームページよりダウンロードして必要事項を記入してください。ダウンロードができない場合は下記の項目を明記の上サンプルと一緒に郵送をお願いします。

物件名称(マンション名など)、住所、サンプル日、防水施工日または竣工日、システム記号、シートの種類と厚み、過去の検査回数(回数と検査日)、検査報告書発行の希望日(1ヶ月程度の時間が必要になります)、その他立地条件等補足事項

① カットサンプルの発送

サンプルは傷が付かないように養生を施した上、検査依頼書を合わせて下記の各営業所までご送付をお願いいたします。

仙台営業所 宮城県仙台市宮城野区榴岡5-1-35(三共仙台東ビル) TEL.022-291-0877
埼玉営業所 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-263(Y.S.T.ビル) TEL.048-641-4720
東京営業所 東京都墨田区堤通1-19-9(リバーサイド隅田・セントラルタワー) TEL.03-6657-1511
千葉営業所 東京都墨田区堤通1-19-9(リバーサイド隅田・セントラルタワー) TEL.03-6657-1512
横浜営業所 神奈川県横浜市中区太田町6-84-2(大樹生命横浜桜木町ビル) TEL.045-661-3563

名古屋営業所 愛知県名古屋市中東区上社1-902(善高ビル) TEL.052-777-5561
大阪営業所 大阪府吹田市江の木町24-10 TEL.06-6385-1261
神戸営業所 兵庫県神戸市中央区雲井通4-2-2(マークラ-神戸ビル) TEL.078-200-6081
広島営業所 広島県広島市西区南観音8-6-8 TEL.082-503-5153
福岡営業所 福岡県福岡市博多区榎田2-1-12 TEL.092-472-9611